

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 32, No. 3 神奈川県立生命の星・地球博物館 Sept. 2026



“元” 名無しのウツボ アワウツボ

写真(KPM-NR 295001):

アワウツボ *Echidna awa* Fujita,
Oomori, Senou & Wada, 2026,
新江ノ島水族館水槽内, 藤田温真
撮影

ふじた あつみ
藤田 温真 (新江ノ島水族館)

わだ ひでとし
和田 英敏 (学芸員)

2026年4月、新江ノ島水族館と神奈川県立生命の星・地球博物館の共同研究により、相模湾、駿河湾及び熊野灘に生息するウツボの仲間“アワウツボ”が新種記載されました。体表が黄色い虫食い状斑で覆われていること、両あごに“泡”を連想させる白色斑が並んでいること、口の中に長い犬歯状歯がない一方で鈍い白歯状円錐歯があること等の特徴を併せもつことで、他のウツボの仲間から見分けられます。

アワウツボは1980年代からダイビングで撮影された水中写真等により存在が

知られていたものの、適用すべき和名・学名が不明のため、長い間“名無しのウツボ”とされていました。本種は歯の特徴等に基づきアラシウツボ属 *Echidna* に含まれる新種として報告されました。同属の新種はアメリカの魚類学者 L. P. Schultz (1901–1986) が報告した *Echidna unicolor* 以来73年ぶりです。

新江ノ島水族館では神奈川県葉山沖の水深150 mで採集されたたくさんのアワウツボたちを展示しており、岩の隙間に潜り込む様子やイカの切り身等を食べる姿が観察できます。